



クラブインフォメーション

発行:(公財)鳥取県スポーツ協会 〒680-8570 鳥取市東町1丁目220番地 鳥取県議会棟別館内
TEL:0857-26-7802 FAX:0857-26-8133 E-mail:tabuchi-h@sports-tottori.com 令和5年7月 第167号

令和5年度鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア 中部サテライトセンター整備事業:倉吉サンリンク・スポーツ

【女性陣の投球フォーム集めました】



令和5年6月2日(金)、倉吉市営体育センターで倉吉サンリンク・スポーツ主催の「令和5年度鳥取ユニバーサルスポーツセンターノバリア中部サテライトセンター整備事業^{※1}」の第1回目が開催され、「ボッチャ^{※2}」を体験してもらいました。

- ※1 目的:鳥取県中部地区において、障がい者が気軽にスポーツをすることができる環境の整備を行い、障がい者のスポーツ実施をサポートする。障がい者スポーツ教室を実施することにより、それをサポートする人材を育成する。障がい者と健常者、子どもから高齢者まで、誰もが共に・気軽にスポーツを楽しめる環境を整備、提供を行う。
- ※2 ボッチャは、ジャックボール(目標球)と呼ばれる白い球に、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールを投げたり、転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。

前半は参加者を2人ずつの4チームに分け、1試合4エンドで総当たり戦を行い、後半は参加者を3人ずつの4チームに分け(途中参加があったため)、同じく1試合4エンドで総当たり戦を行い勝敗を決めました。

初めて参加する人も居ましたが、チームで作戦を立てて、投球する方向や、当てて飛ばす球等の作戦を立てて進めるので、一体感が生まれて大変盛り上がりしました。

ボッチャの球は持ちやすく、扱いやすいので、初めて体験される方でも、気軽に楽しんでいただけます。

この事業は、令和6年3月までの第1・3金曜日9時30分から、倉吉市営体育センターで開催します。

興味のある方は是非参加してみてください。

連絡先
倉吉サンリンク・スポーツ事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

令和5年度鳥取型障がい者スポーツ推進事業：倉吉サンリンク・スポーツ



グラウンド・ゴルフの様子

令和5年6月10日(土)、鳥取県立倉吉養護学校グラウンドで「令和5年度鳥取型障がい者スポーツ推進事業※1」(県障がい者委託事業)の第1回目が開催されました。

※1目的 特別支援学校の学校体育施設を拠点として、特別支援学校の在校生及び卒業生、地域住民が、障がいのあるなしに関わらずスポーツの楽しさを共に味わいながら、体力の向上や豊かな生活の実現、共生社会の実現を目指す。

【参加者】生徒5名、卒業生2名、教員3名、地域住民10名

【指導者】杉谷哲治さん、平井明朗さん、桑名優子さん

第1回目は、地域住民と生徒・OB が一緒のチームを5つのグループに分け、「グラウンド・ゴルフ※2」と「モルック※3」を体験していただきました。

※2 専用のクラブでボールを打ち、ホールポストにボールが入るまでの打数を数えて、その打数が少ない方が勝ちになる。

※3 モルック(木の棒)を投げて、倒れたスキttl(木製のピン)の得点を加算していき、先に50点ピッタリに得点した方が勝ちとなる。

モルックは初めて体験する生徒さんがほとんどでしたが、地域の支援者の方からアドバイスをもらいながらプレーし、モルックがスキttlに当たり勢いよく倒れたり、狙ったスキttlにピンポイントで当たった時は皆で大盛り上がりでした。

一通り体験した後、最後にもう一度やりたい種目をする事になりましたが、生徒は全員モルックを選びました。

モルックを1回体験すると、ただスキttlを倒すだけではなく、頭を使ってどのスキttlに当てるのか、相手にどのスキttlを倒されたら負けるのかなど、考えながらプレーしなくてはいけないので、その奥の深さにはまるようです。

思いっきり投げたモルックがスキttlに当たった時の音も迫力あって良かったです。

※次回は7月8日(土)9時から「グラウンド・ゴルフ」と「モルック」(雨天の場合は「フロアグラウンド・ゴルフ」と「ボッチャ」)を開催予定です。



モルックの様子

連絡先
倉吉サンリンク・スポーツ事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196
E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

モルック体験会「家族の日事業」: スポnetなんぶ



1組目のお母さん



娘さん



息子さん

令和5年6月4日(日)、あいみドーム(南部町)で、スポnetなんぶ主催の“モルック※1体験会”「家族の日※2」を開催しました。

※1 モルックは、モルックと呼ばれる木の棒を投げて、スキttl(木製のピン)の倒れた合計得点が50点ぴったりに得点したチームが勝ちとなるゲームです。

※2 家族のふれあいを楽しみ、絆をより深める機会を提供する。

【指導者】 杉谷 哲治さん(倉吉サンリンク・スポーツ)

当日は、2家族に参加いただき、皆さん初体験ということで最初に練習をしていただきました。練習の時は、これで対戦できるのだろうかと思うくらい、モルックがスキttlに届かなかったり、方向が定まらなかったりと不安でしたが、いざ対戦してみると、「こんな才能があったのか!」と思うほど、狙ったスキttlに何度も命中させたり、50点ピッタリで終わったりするくらい上達して、皆を驚かせました。

最初は2家族で対戦してもらい、次はスタッフチームも加わり、3チームで対戦しました。

子どもたちは夢中になり集中して投球し、負けた時はとても悔しがり涙する場面もありました。この年齢で負けて悔しくて涙するなんて凄いことです。

大人たちはその涙を見て、わざと負ける作戦に出ました。が、何と狙えるはずもないスキttlに当ててしまい、まさかの50点ピッタリに。余計に泣かせてしまいました。

この漫画のような状況に一瞬時が止まり、その後大人たちはお腹を抱えて大笑いしました。(こんな笑ったのは何年ぶりでしょう。)

この短時間で上達する子どもの能力に驚きです。子どもたちは皆上手になりました。

意外に、南部町教育委員会の中谷さんの上手さが光っていました。(奇跡を起こした人です。)

人数は少なかったかもしれませんが、思う存分プレーできて充実した体験会になりました。

次回は、7月2日(日)10時~11時30分、南部町総合福祉センターしあわせのプールから「親子でプールを楽しもう」企画です。参加お待ちしております。



2組目のお母さん



お姉さん



妹さん

連絡先

NPO法人南部町総合型地域スポーツクラブ事務局

板 真悟 TEL:0859-66-5400

E-mail: shiawase01@suponetnanbu.com

体づくり教室:若桜クラブ



リフティング



壁打ち



乱打

令和5年6月14日(水)、若桜町立第一町民体育館で、若桜クラブの「体づくり」定期教室で「ピクセルボール※」を実施しました。(毎週水曜日午後3時30分から実施しています。)

※アメリカ発祥のスポーツで、テニス・卓球・バドミントンの要素を合わせたラケットスポーツです。バドミントンコートと同じ広さのコートで、プラスチックのパドルを使用して、穴あきのボールを打ち合います。穴あきのボールが風の抵抗を受け、強く打ってもボールの速度が弱まるため、シニアや子どもまで楽しめる簡単なスポーツです。

【指導者】 前住 孝行さん(若桜クラブアシスタントマネージャー)

【練習内容】

・ラケットリフティング

手のひらを上に向けた面でボールを真上に弾ませる練習を左右両方の手で20回続ける。

手の甲を上に向けた面でボールを真上に弾ませる練習を左右両方の手で20回続ける。

手のひらを上に向けた面でボールをカット(スライスショット)の練習

手の甲を上に向けた面でボールをカット(スライスショット)の練習

・壁打ち

壁に向かってボールを打ち、跳ね返ってきたボールをまた打ち返すことを繰り返す、1人でもできるテニスの練習方

法の1つ

・試合

ダブルスで人を代えながら11点マッチで試合を行う。

小学5・6年生が中心に参加してくれました。卓球と陸上をやっている子どもたちでしたが、とても上手で、ラリーが続いたり、ボレーが決まったり、必死でボールを追いかけたりと、とても楽しく身体を動かしました。

毎週水曜日、種目を変えていろいろなスポーツを体験してもらっています。

指導者も優しく、楽しく、面白く指導してくれるので、皆さんも楽しく身体を動かして来てください。



サーブ



ボレー



抜かれた～！頼む～！

連絡先
若桜クラブ事務局
岸本 匡史
TEL:0858-71-0253
E-mail:wakasa.club@sirius.ocn.ne.jp

「倉吉市公民館連絡協議会」研修会：倉吉サンリンク・スポーツ



杉谷さん挨拶(向かって右)



モルックのルール説明



先攻・後攻決めるジャンケン

令和5年6月23日(金)、倉吉市営体育センターで、倉吉市公民館連絡協議会主催で「モルック」と「卓球バレー」の研修会が行われました。

モルックの指導者として、杉谷哲治さん(倉吉市スポーツ推進委員)が依頼を受け、当日コミュニティセンター館長と主事さん合わせて約40名が参加した体験で指導をしました。(卓球バレーの指導者は鳥取県卓球バレー協会会長)

「モルック」も「卓球バレー」も、知らない・体験したことがない人が殆どでしたが、ルール説明の後5人ずつの8グループに分かれて、前半・後半と種目を変えて対戦してみました。

前半戦が終わった後、もぐもぐタイムでエネルギー補給と他のコミュニティセンター職員とコミュニケーションを取りました。

参加者は、すぐにコツを掴み、ピンポイントでスキttlに命中させたり、勢いよくスキttlに当ててたくさん倒したりして、あっという間に得点を重ね試合終了となることも多かったです。



ピンポイントで命中



密集したスキttlに命中



もぐもぐタイム

今日、体験した種目を各地区に持ち帰り、益々地域の方が楽しく・健康に過ごせるように各コミュニティセンターで企画していただけるといいですね。誰でも気軽に・楽しくできるスポーツなので皆さんも是非チャレンジしてみてください。

倉吉サンリンク・スポーツは用具の貸出、指導者派遣を行っていますので、お気軽に声をかけてみてください。



ストライク!といった感じ



スキttlの並べ方を教わります



卓球バレーの様子です

連絡先
倉吉サンリンク・スポーツ事務局
杉谷 哲治
TEL:090-6436-9196 E-mail:sanrink_sugi@yahoo.co.jp

令和5年度県民まるごとスポーツ推進事業 NPO法人地域スポーツ推進協会

【令和5年6月27日(火)】



グーパージャンプ



にんげんドリブル



真っすぐ上に跳ぶ

【令和5年6月28日(水)】



グーパージャンプ



にんげんドリブル



真っすぐ上に跳ぶ

令和5年6月27(火)・28日(水)、TRAMBOUL(鳥取市緑ヶ丘)で、NPO法人地域スポーツ推進協会主催の「県民まるごとスポーツ推進事業:親子deスポーツ※」で「親子deトランポリン」を開催しました。

【参加者】 27日(火):12組の親子(大人12名、子ども13名) 28日(水):12組の親子(大人12名、子ども12名)

【指導者】 間屋口貴仁さん、谷口良登さん、山口剛さん、仲山颯汰さん

※子育て世代の県民が、身近な地域において子どもと一緒に運動・スポーツに親しむ事業の提供を通じて、県民のスポーツへの意識の高揚を図り、もって本県スポーツ振興を推進することを目的とする。

【内 容】

- ・準備体操→グーパージャンプ(手を打つ音・うさぎとカメの歌に合わせて)→人間ドリブル(いずれもトランポリンのジャンプに繋がる動作)
- ・トランポリン→諸注意→真っすぐ上にジャンプ→抱え込みジャンプ→1/2ひねりジャンプ→腰落ち
- ・クールダウン

指導者の方の模範動作を一つ一つ(目の位置、手の使い方等)を確認してから挑戦しました。

短時間でしたが、たくさんの技ができるようになり、とても楽しそうにされていました。(皆さんお上手でした。)

視線を真っすぐにして顎を引く、ジャンプは上に跳ぶ意識ではなく押す方に意識してジャンプする等、上手にジャンプできるように、また、綺麗に見せる跳び方等分かりやすく教えていただきました。

両日共、多くの親子に参加いただき、日頃味わうことができない浮遊感を楽しんでいただけました。初心者でも指導者のアドバイス通り行えば、すぐにできるようになります。

模範演技でバッジテスト※15級※2の技を披露していただきましたが、トランポリンの基礎を正しく学べるので、子どもはもちろん、大人の方にもお勧めです。是非バッジテストにチャレンジしてみてください。

※1 日本トランポリン協会(現日本体操協会)が、子どもの素養づくりの為に制定したテストです。

※2 1.腰落ち→2.膝落ち→3.1/2捻り腰落ち→4.立つ→5.1/2捻り跳び→6.抱え跳び→7.膝落ち→8.1/2捻り膝落ち→9.腰落ち→10.立つの連続した技

【令和5年6月27日(火)】



抱え込みジャンプ



1/2ひねり跳び



腰落ち

【令和5年6月28日(水)】



抱え込みジャンプ



1/2ひねり跳び



腰落ち

【参加者の声】

- 普段味わえない感覚なので親子で楽しめました。
- SNSで見えていて気になっていましたが、今回無料体験ができることを知り思い切って参加しました。とても楽しかったです。
- 初めて体験して最初はどうかと思いましたが、体験してみると意外とできてとても楽しかったです。

連絡先
NPO 法人地域スポーツ推進協会事務局
間屋口 貴仁
TEL:0857-24-5507
E-mail:info@kodomo-sports.com

スポトピアとっとりフェスタ2023第1回実行委員会を開催しました

令和5年6月7日(水)、県立倉吉体育文化会館で「スポトピアとっとりフェスタ 2023」第1回実行委員会を開催しました。

令和5年3月23日(木)に開催された、令和4年度第2回鳥取県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会総会の協議結果を受けて変更点の報告や運営方法等について協議しました。

□事業方針と予算について

	変更前	変更後
事業方針	本県に所縁のあるトップアスリートを招聘し、全県規模で交流事業を1回開催する。	東・中・西部地区のいずれか1地区に本県所縁のあるトップアスリートを招聘し交流事業を開催する。あとの2地区はそれぞれで交流会を開催する。
予算額	33万円 ※トップアスリート招聘に係る謝金・旅費等は別補助金から支出する。	11万円×3地区=33万円 均等に3分割し予算執行する。

□決定事項

今年度トップアスリートを招聘して開催するのは東部地区(東部→中部→西部の順で)

東部地区の幹事クラブは、NPO法人鹿の助スポーツクラブ

東部地区の日程に合わせて、中部・西部地区の日程を決める。

(報道に取り上げてもらいやすくするため、同日あるいは翌日とか、分散しないように)

予算額33万円には、実行委員会旅費も含まれるため実際には10万円以下になる予定、また、均等に3分割ではなく、各地区の予算執行状況に合わせて調整する。

今後、それぞれの地区で実行委員会を開催し詳細を決めていく。

交流会当日は、各クラブや連絡協議会から、チラシやパンフレットを持参し展示する。

連絡協議会に加入していないクラブについては、今年度までは、予備登録期間のため、今年度は連絡する。

□出席者

	氏名	所属
1	後藤 弥	(一社)ほうきスマイリースポーツクラブ
2	間屋口 貴仁	NPO法人地域スポーツ推進協会
3	武部 夏美	NPO法人鹿の助スポーツクラブ
4	大谷 伊知郎	スポねっとちづ
5	瀧田 祐吉	(一社)ほうきスマイリースポーツクラブ
6	西村 香緒里	(一社)ほうきスマイリースポーツクラブ
7	金坂 博	NPO法人ウルトラスポーツクラブ
8	板 真悟	NPO法人南部町総合型地域スポーツクラブ



□クラブから出た意見

- 登録したのに何も状況が変わっていない。行政・住民等への周知がされていない。どうやって登録クラブだと知ってもらうのか。報道で取り上げてもらうとか、式典でお披露目するとか、県や県スポーツ協会として、総合型クラブとしての位置づけをちゃんとしてほしい。
- 県連絡協議会に属さないクラブと準登録クラブはどうなるのか。
→属さないクラブについては令和6年度から除名することになる。準登録クラブについては、登録を目指すということで登録クラブと同じ連絡協議会に属しているため、いつまで同じ協議会に位置付けることが可能かは決まっていない。
- 準備中クラブが立ち上げまでの準備期間・規定を設けてもよいのでは？

クラブ運営と並行して、交流会の準備をお願いすることになりますが、クラブ間で協力・連携して進めていただけたらと思います。大変ですが、よろしくお願ひします。

鳥取県総合型地域スポーツクラブ研修会を開催しました



自己紹介



研修会の様子



理想の地域づくりのキーワードを挙げてみる

令和5年6月24日(土)・25日(日)、県立倉吉体育文化会館で「鳥取県総合型地域スポーツクラブ研修会」を開催しました。

この研修会は、総合型地域スポーツクラブの運営に必要なマネジメントの基礎知識を有する人材を養成するとともに、関係者のクラブ運営に関する知識・理解の向上を目的としています。

【内容】

6月24日(土) 9:00~17:00

□地域スポーツクラブとは

□クラブのつくり方

6月25日(日) 9:00~18:00

□クラブマネジャーの役割

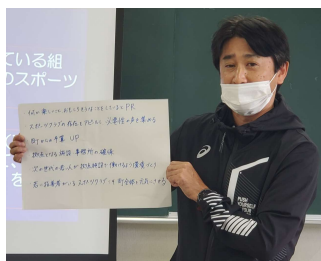
□クラブの運営

□検定試験

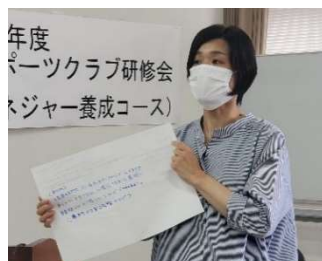
【参加者】

名前	所属
青戸 武さん	にちなんスポーツクラブ
加賀田 知江さん	八頭町教育委員会
前住 総一郎さん	若桜クラブ
山崎 裕太さん	一般財団法人北栄スポーツクラブ

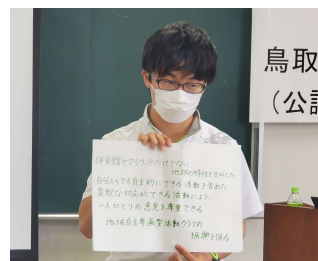
【講師】 渡辺 泰弘氏(広島経済大学 准教授)



青戸 武さん
(にちなんスポーツクラブ)



加賀田 知江さん
(八頭町教育委員会)



前住 総一郎さん
(若桜クラブ)



山崎 裕太さん
(一般財団法人北栄スポーツクラブ)

ワーキングでは、「理想の地域づくりは可能か」というテーマで何を理念とするのかを考えたり、「SWOT分析」で内部環境と外部環境のプラス面とマイナス面を洗い出し、それぞれカテゴリーを2つずつに分けて4つの項目について分析し新たな経営・マーケティング戦略を考えるヒントを導き出したり、最後はどういうクラブを目指して関わっていくか1人ずつ発表しました。

皆さん、しっかりとした思いを持ち、自クラブのことを十分に理解されていて、これからクラブにどう関わっていくか改めて考える良い機会になりました。

参加者同士で情報交換もでき、渡辺先生にもたくさんアドバイスをいただきました。

クラブマネジャー一人ではクラブ経営は出来ません。同じ思いや考えかを持った人の確保、また、総合型地域クラブをご存じない方も多いので、知っていただくためにも(アシスタントマネジャー資格取得者だけでなく)是非たくさんの方のクラブ関係者に参加いただくと嬉しいです。

参加者全員、アシスタントマネジャー(専門科目)の検定試験合格でした。おめでとうございます。

後は、共通科目 I のオンライン講座の受講をお願いします。